

## 外部評価の結果 講評

全体を通して（特に良いと思われる点など）	特に改善の余地があると思われる点	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 静かな住宅街にあり、内部は落ち着きと品格のあるホームとなっている</li> <li>・ 各入居者の部屋は使い慣れた装飾品・調度品が持ち込まれるなど個性を大切にしている。</li> <li>・ 庭に古く懐かしい物を置くなど思い出を呼び起こす工夫をしている。</li> <li>・ 音楽会や旅行など外部との交流を積極的に取り組んでいる。</li> <li>・ ホーム長、ケアマネージャーは若く、熱心に取り組んでいる。外部から提案したことを積極的に取り入れようとしている。職員は皆笑顔で対応していた。</li> <li>・ ターミナルケアを行っているので、本人・家族は安心して生活が出来る。</li> <li>・ 職員研修も在職期間により様々な研修を全事業所で行っている。</li> <li>・ 労働組合もあり職員の労働条件も保障され働く意欲はそれにより高まっている。</li> </ul>	<b>運営理念</b>	
		<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 入居者、家族、来訪者に分かるところに理念を明示することが望まれる。</li> </ul>
	<b>生活空間づくり</b>	
		<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 共用スペースに一人又は少人数での居場所が欲しい。</li> <li>・ 日時の認識を促すためにも見やすいカレンダーの掲示が望まれる。</li> </ul>
	<b>ケアサービス</b>	
		<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 今後は入居者の高齢者認知症が進行することが想定される。症状の変化に揺ぎ無い対応が望まれる。</li> </ul>
<b>運営体制</b>		
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 入居者個々の支援要求に対しより細かな対応が出来るよう、体制としての工夫が期待される。</li> </ul>	

## 2. 評価報告書（判断理由・根拠欄省略）

No	外部評価項目	できている	要改善	評価不能
	<b>運営理念</b>			
	1 運営理念の明確化			
1	理念の具体化 当事業所の理念は入居者・家族・来訪者に安心を与え、職員には使命感を高め励ましになるものであり、誰もが見えるところに掲示することが望ましい。			
	運営理念 1項目中 計	0	1	0

	<b>生活空間づくり</b>			
	1 家庭的な生活空間づくり			
2	気軽に入れる玄関まわり等の配置 落ち着いた住宅街にあり、一見外国のお屋敷かと思われる建物である。玄関が1階、居室が2・3・4階という立地から1階には玄関、玄関ホール、エレベーターのみである。庭木、花が植えられ、水が細く滝のように落ち風情のある前庭となっている。			
3	家庭的な共用空間づくり 食卓の近くには調理台が見えるようになっていて家庭的である。リビングは広くソファもゆっくり座れる。			
4	共用空間における居場所の確保 共用空間は広いが、入居者が一人になったり気の合った人と過ごせるような畳コーナーなどくつろげる所が欲しい。			
5	入居者一人ひとりにあわせた居室の環境づくり 居室には、使い慣れた装飾品、調度品等が持ち込まれ、個人の好み・思い出を大切にしている。			
	家庭的な生活空間づくり 4項目中 計	3	1	0
	2 心身の状態にあわせた生活空間づくり			
6	身体機能の低下を補う配慮 居室・トイレ・お風呂の段差はない。廊下は広くすべて手すりがついている。共用スペースの床はクッションフロアになっている。トイレは各居室の隣に設けられている。居室内にトイレを設置しないのは、それにより運動量を増やすための設計である。			
7	場所間違い等の防止策 居室には押し花に名前を入れた額が掛けられて周りによく調和していた。場所間違いは起こっていない。			
8	音の大きさや光の強さに対する配慮 各居室・共用スペースは自然光がたっぷり入り明るく静かである。			

No	外部評価項目	できている	要改善	評価不能
9	時の見当識への配慮 各フロアに時計は有るが、カレンダーの所在はわかりにくい。リビングのどこからでも見えるカレンダーの掲示が望まれる。			
10	活動意欲を触発する物品の用意 施設には鳥（インコ）、猫を飼っている。エレクトーン・赤ちゃん人形・動物のぬいぐるみのほか、庭に板塀・古い郵便ポスト・古いポスターなどを置いて入居者の思い出を引き出す工夫をしている。			
	心身の状態にあわせた生活空間づくり 5項目中 計	4	1	0

ケアサービス				
1 ケアプラン				
11	個別具体的な介護計画 入居時本人・家族から生活背景を聞き個別の状況を考慮に入れ介護計画を立てる。記録もよくまとまっており、職員の共通の認識による対応がなされている。			
12	介護計画への入居者・家族の意見の反映 介護計画を、入居者や家族とも相談しながら作成している。			
13	介護計画の見直し 実施期間終了後と、状態変化に応じた随時の見直しを行っている。			
14	確実な申し送り・情報伝達 申し送りは記録に残し確実にやっている。			
15	チームケアのための会議 一人ひとりの介護記録に基づいてケアプランミーティング（週1回）、主治医の意見、訓練士・家族の意見を入れスタッフミーティングなど打ち合わせを密にしている。ミーティング記録を残しケアに役立てている。			
	ケアプラン 5項目中 計	5	0	0
2 ホーム内でのくらしの支援 (1)介護の基本の実行				
16	入居者一人ひとりの尊重 職員は入居者の目の高さに合わせて丁寧に対応していた。職員面談でも入居者を尊重し、丁寧・ゆったりを心がけていると発言している。			
17	コミュニケーションに対する取組み 高齢になっての聴覚障害のため手話が出来る入居者はいない。筆談でしている。現在手話研修の受講を検討している。			
18	入居者一人ひとりの過去の経験を活かしたケア 家族から生活歴・趣味などを聞いて記録し、職員全員がその人らしい生活が出来るように支援している。			
19	入居者のペースの尊重 朝の起床、食事の時間も入居者のペースを損なわないよう根気よく対応している。			

No	外部評価項目	できている	要改善	評価不能
20	入居者の自己決定や希望の表出への支援 着替えの服装は入居者に選んでもらっている。選定が難しくなって来ている入居者でも2～3枚出してそこから選択させるなど自立を促す工夫をしている。			
21	一人で行えることへの配慮 〔出来ることは出来るだけ自分で〕をモットーに声かけ・見守りをしている。出来たことを記録に残し次の職員につなげることを積み重ねている。			
22	鍵をかけないなど身体拘束(行動制限)しない工夫 身体拘束については入居時に入居者、家族にしないことを言明している。やむをえないときの規定は作ってある。玄関は1階にあり各ユニットは2・3・4階という立地のため門扉は鍵をかけている。各ユニットの行き来はエレベーターを使って自由である。			
介護の基本の実行 7項目中 計		7	0	0
(2)介護の基本の実行 食事				
23	食事を楽しむことのできる支援 入居者と食事をしながらさりげなく見守っている。湯飲みは好みの物、食器はみんな同じ物ではあったが、おかずにより、趣向を凝らした食器を使用している。			
24	食事作り 毎日の食事作りや準備など入居者に手伝ってもらっている。ユニット毎に食事作り、お菓子作り日(月3回)を設けて、献立から食材の購入など皆で行っている。			
25	個別の食事状況の把握 入居者の食事の摂取量、水分の摂取量を適切に把握し、記録に残している。水分の補給は特に気をつけている。			
排泄				
26	排泄パターンに応じた個別の排泄支援 日中のオムツ使用は出来るだけしない。日中のオムツは1人。夜は2人、ポータブルトイレ4人である。症状によりリハビリパンツを使用するが症状の改善と共に布パンツに戻している。			
27	排泄時の不安や羞恥心等への配慮 排泄の誘導・確認、はさりげなくしている。日中はほとんどの入居者がオムツは使用していない。			
入浴と整容				
28	入居者一人ひとりの希望にあわせた入浴 入浴は週2回であるが、希望により3回の入浴や足浴が出来る。			
29	プライドを大切にされた整容の支援 入居者の皆さんはさっぱりしていて清潔であり、整髪はホームに来てもらっている。外の美容院利用者もいる。			

No	外部評価項目	できている	要改善	評価不能
	睡眠・休息			
30	安眠の支援 入居者一人ひとりの睡眠のパターンを把握し、夜の付き添いなど見守りをして入居者が眠られるように支援している。			
	介護の基本の実行 8項目中 計	8	0	0
	(3)生活支援			
31	ホーム内の役割・楽しみごとの支援 フラワーアレンジメント・手芸 各月1回。音楽療法 月2回、新聞購読4名、インコ・猫を飼っている。エレクトーンも弾いている。道を隔てた向かいにある有料老人ホームの音楽会に希望者は参加している。そのことで症状の改善が見られた入居者もいる。			
	生活支援 1項目中 計	1	0	0
	(4)健康管理			
32	医療の相談の確保 直ぐ近くの医院に24時間体制で来てもらえることを契約している。内科・整形外科2週間に1回、歯科1週間に1回の訪問診療を受けている。以前からの主治医に通っている入居者もいる。			
33	口腔内の清潔保持 食後は声かけをして、口腔の清潔を日常的に支援している。			
34	服薬の支援 入居者が服用する薬及び薬の容量・用法・写真を入居者別にファイルしている。食事の時、飲み忘れの無い様に医師の指示を職員全員が把握して支援している。また症状の変化は直ぐ医院に連絡をしている。			
	健康管理 3項目中 計	3	0	0
	3 入居者の地域での生活の支援			
35	ホームに閉じこもらない支援 希望により近所のお店には歩いて、遠くのお店にはホームのマイクロバスで出かけている。夏には、浴衣を着て地域の盆踊りに出かけた。			
36	周辺施設等の理解・協力への働きかけ 地域の自治会には参加出来るようになって来ている。系列施設とのホームの夏祭りには、地域の人にも参加してもらうように働きかけている。			
	入居者の地域での生活の支援 2項目中 計	2	0	0
	4 入居者と家族との交流支援			
37	家族の訪問支援 家族が気軽に訪問できるよう、希望される家族には門扉の暗証番号を教えている。リビングルームでも話しやすい雰囲気を作っている。家族の要望は訪問時、電話やメールなどで受けている。その都度対応して入居者ファイルに記録を残している。			
	入居者と家族との交流支援 1項目中 計	1	0	0

No	外部評価項目	できている	要改善	評価不能
	<b>運営体制</b>			
	1 ホームと家族との交流			
38	家族の意見や要望を引き出す働きかけ 定期的(月1回)にホームの便りを送っている。その中に入居者家族に個人的に様子を知らせる欄があり個別に記入している。ホームの便りのファイルはあるが、個人的様子の記載は残っていなかった。どんな様子を知らせたか記録を残すことが望ましい。			
39	入居者の金銭管理 小額の管理が出来る入居者は自分でしている。各月の出費は領収書・レシートを添付して家族に報告している。中味の問い合わせには随時お答えしている。			
	ホームと家族との交流 2項目中 計	2	0	0
	<b>2 職員の育成</b>			
40	継続的な研修の受講 社内研修は入社時研修・2週間研修・3ヶ月研修・専門各部所研修(月1回)もある。外部の研修受講者は受講内容を報告して職員全員で研修内容の理解に努めている。全員が見たことを確認のため押印をすることが望ましい。			
	職員の育成 1項目中 計	1	0	0

### 評価合計

外部評価項目	できている	要改善	評価不能
運営理念 1項目中	0	1	0
生活空間づくり 9項目中	7	2	0
ケアサービス 27項目中	27	0	0
運営体制 3項目中	3	0	0
全評価項目合計 全40項目中	37	3	0